



Vision 2030

クライメイト・ニュートラルな未来実現のため、
空気処理技術のイノベーション・リーダーであり続ける

株式会社 西部技研
隈 扶三郎

会社概要

社名 株式会社 西部技研

創業 1962年11月（九州大学発）

設立 1965年 7月

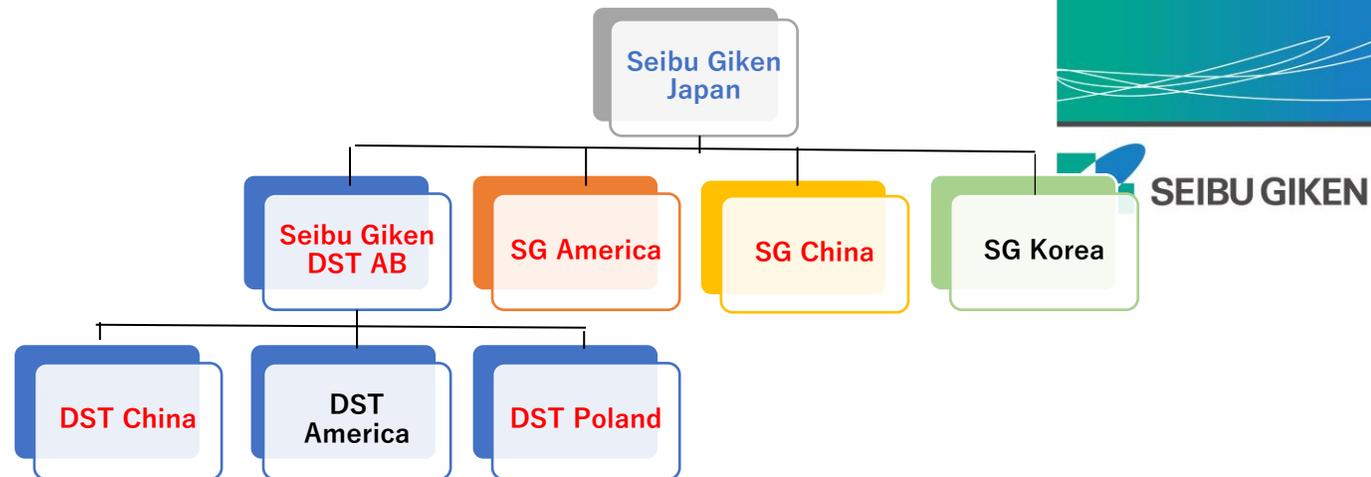
本社 福岡県古賀市青柳3108-3

売上高 単体140 億円（連結288億円）

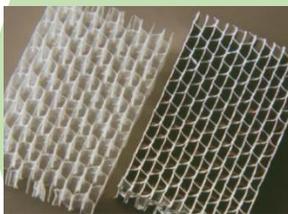
社員数 360名（国内）

790名（グループ全体）

2023年10月IPO（東証スタンダード市場）



機能性フィルター



VOC濃縮装置



デシカント除湿機



熱交換器



ソリューション製品



ハニカムローター

今後の事業戦略と経営課題



成長ドメインを見据えた戦略投資

- ✓ 製品のさらなる競争優位確立 (VOC濃縮装置: 世界トップシェア、デシカント除湿機: 世界2位)
- ✓ ニッチ市場から拡大する市場需要 (バッテリー向け等) を見据えた戦略的な投資
- ⇒ 投資環境 (土地・BCP)



- **宗像工場**
 - 世界最先端かつ最大級のローター量産拠点
 - 更なる拡張・戦略拠点拡充

デシカント除湿機

世界シェア2位

- 1984年、世界に先駆けてシリカゲルを使った除湿ローターを開発
- 従来の冷却除湿方式では成し得ない、15℃以下の低温環境での除湿制御が可能
- リチウムイオン電池の製造等、多岐に渡る産業用途で採用



電池製造



製薬



食品製造



風力発電

VOC濃縮装置

世界トップシェア

- 1988年、世界に先駆けてゼオライトを使ったVOC濃縮ローターを開発
- 工場の排ガス中の大気汚染物質となるVOC(揮発性有機化合物)のみを吸着・濃縮し、排ガスを効率的に浄化させるための、環境保全に貢献する装置
- 燃焼装置の最小化、及び燃焼分解に使用するエネルギー量・CO₂排出量の大幅削減が可能



自動車塗装



半導体製造



樹脂製品製造



印刷

イノベーションの持続的誘発

- ✓ ビジネスプロダクトの一層の進化
- ✓ コア技術製品開発とエンドユーザー指向製品開発の仕組み化
- ⇒ クローズド・イノベーションとオープン・イノベーションの推進。M&Aもオプションに



- **西部技研イノベーションセンター**
 - 創業マインドの継承
 - 女性が4割

今後の目標と政府への期待

国内国外両方で投資を加速予定

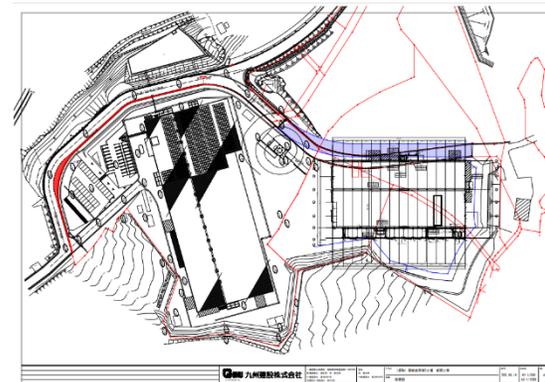
- コア部材を生産する本社工場（福岡県古賀市）の拡張キャパに限界。宗像工場隣接地に第二工場を建設予定（土地取得済み）。総投資額30億円、5月着工予定。2026年中に中国にて内製化の為の板金工場の建設を計画中。
 - 成長を後押しする工場・設備への支援

更なる経営のグレードアップ

- IPOを契機としたマネジメントの高度化
 - 賃上げ税制の中堅枠の創設
 - 仲介コストの高い「キャリア人材」「M&A」分野への政策アプローチ

地域イノベーション・エコシステムへの貢献

- ✓ スタートアップとの協業
- ✓ 産学連携を通じた研究開発の推進
- ✓ 複数の中堅企業との研鑽活動「GTT研究会（九州の中堅10社から構成）」



宗像第2工場計画



SG America新工場（今年2月竣工）



DST Poland拡張工場（今年3月稼働）